

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 在宅看護学分野科
目コード:220004

在宅看護特論 Home Care Nursing

担当教員	桜井 志保美、山路朋子、牛村春奈				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
該当ディプロマポリシー	(1)	(2)	◎	(3)	○
Keywords	在宅看護学の概念、訪問看護、家族介護者、ケアマネジメント、ケアシステムの構築				
学習目的・目標	対象者の生活する場において看護援助を提供する在宅看護過程の展開方法について理解する。在宅看護の対象である「在宅療養者・要介護者・その可能性のある者とその家族」の健康生活上の援助ニーズの把握方法と、対象者の生活様式に見合った、より質の高い看護援助を提供していくための方法を理解する。地域包括ケアシステムにおける社会資源の理解、システムの組織化の方法、暮らしの場の多様な看護職の活動等について理解する。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	オリエンテーション			講義・討論	桜井
2,3	在宅看護学の概念、地域包括ケアシステムにおける在宅看護 次回課題の説明			講義・討論	桜井
4,5	諸制度、訪問看護、活用理論 次回課題の説明			講義・討論	桜井
6,7	在宅看護における倫理的課題「生活と治療の間でのジレンマ」 保健福祉の協働、ケアマネジメント			講義・討論	桜井
8,9	在宅看護の研究と動向 論文精読			講義・討論	桜井
10,11	論文精読 とディスカッション			講義・討論	桜井
12,13	入退院支援 次回課題「○○に対応する地域包括ケアシステム構想」			講義・討論	山路
14,15	課題発表と「地域包括ケアシステムにおける看護職の役割」ディスカッション			講義・討論	桜井, 山路, 牛村
教科書	授業の中で提示する				
参考図書等	授業で紹介する				
評価方法・基準	課題・レポート及び授業中の発言内容				
関連科目	在宅看護演習、家族看護特論、在宅看護演習、家族看護実習、在宅看護実習				
教員から学生へのメッセージ	院生の主体的な取り組みを期待します。				